

地域に暮らし、地域に学ぶ外国人。
奥能登での課題と、
地域資源を活かした暮らしを事例に学びあい

取材対象日時：9月20日(火)～22日(木)「地域理解プログラム」

～ 奥能登地域が抱える課題と地域資源を活用した取り組み ～

取材場所：能登町および珠洲市内各所(次ページ参照)

言語：日本語・英語 (※通訳あり)

留学生の在籍大学：

金沢大学、金沢工業大学、石川県立大学

留学生の出身国：インドネシア、ブータン、ガーナ、ケニア、
ルワンダ、ガンビア、キルギス、パキ
スタン 18名



JICA 留学生の1人
(当日は対面で受講)

上記3大学の大学院の修士・博士課程で自然科学やインフラ整備技術等について研究する JICA 留学生たちが、地域特有の開発事例を題材とした「地域理解プログラム」に参加し、自分たちが暮らす石川県についてさらに学びを深めます。

今回は、能登町や珠洲市を訪問し、奥能登地域が直面する少子高齢化や産業の担い手不足などの課題と、地域資源を活用した取り組みについて視察や講義を通して学び、自国の例と対照してディスカッションを行います。文化体験や地元住民との交流・意見交換も行い、地域について様々な角度から学びます。

最終日は、金沢市・野々市市で暮らす外国人の視点で、奥能登の課題と教訓、学んだことの留学後の活用についてグループ討議を行い、日本の講師陣も交えて意見交換をします。

講義後に、講師や JICA 留学生への個別取材も可能です。

ご関心のある報道関係者は是非、取材をご検討ください。

【問合せ先】

独立行政法人国際協力機構 北陸センター (JICA 北陸)

担当：野吾 (やご)

TEL 076-233-5931

e-mail : Yago.Naoko@jica.go.jp

日程表

日時	行程	場所
9月20日(火)		
8:30	金沢駅出発(バス移動、春蘭の里へ)	
11:00~12:00	講義「奥能登地域の特色と課題、金沢大学の取り組み」 中村浩二(金沢大学名誉教授) 淑溜ラフマン(金沢大学特任助教)	春蘭の里(能登町宮地16-9)
13:00~14:30	祭り体験	春蘭の里
15:30~16:45	講義「日の出大敷」 伝統漁業による地域の水産資源の持続的な活用と漁業を通じた地域活性化への想い、次世代人材の育成	コンセールのと(能登町宇出津ト29-2)
18:00	チェックイン、農家夕食体験	春蘭の里
9月21日(水)		
9:30~11:00	講義「珠洲市の抱える課題と取り組みについて」 杉盛啓明(珠洲市役所)	珠洲市役所(珠洲市上戸町1-6-2)
13:30~15:00	講義・視察「大野製炭工場」 地域資源を活用した地域産業の育成、地域振興	大野製炭工場(珠洲市東山中町ホ部2)
15:15~16:45	パネルディスカッション「移住者と起業の実例」 ① ガクソー/中田文化額装店(学びと遊びの拠点づくり) ② サポートスズ(奥能登国際芸術祭の企画等) ③ アステナミネルヴァ(人材育成・教育、地域連携と起業誘引、事業投資)	さいはてのキャバレー(珠洲市飯田町1-13)
9月22日(木)		
9:30~11:00	グループ討議(学んだことと帰国後の活用)	能登学舎(珠洲市三崎町小泊33-7)
11:00~12:00	発表、意見交換(JICA留学生・日本人参加者)	
12:00~13:30	昼食・参加者交流	能登学舎
13:30	能登学舎出発(バス移動、金沢駅へ)	